

令和4年度ハートランド推進財団評議員会・理事会を開催しました

令和4年6月2日(木)近江八幡図書館会議室で評議員会と理事会を開催し、令和3年度の事業・収支報告、令和4年度の事業計画・予算を承認・議決しました。
また人事案件では、新たに副理事長と専務理事を選任しました。

新副理事長と専務理事就任の挨拶

当市を「日本一のハートランド」に…!

6月2日の理事会で副理事長の指名を受けました山田です。近江八幡市は歴史の宝庫で、以下の様に「日本の名城」が三カ所もあります。

「日本百名城」：「安土城」「観音寺城」

「続日本百名城」：「八幡山城」

一つの自治体に「歴史的な名城」が三カ所もあるのは当市と、山梨県の甲府市だけですが、当市の人口が甲府市の約半分である事を考えると、「当市は日本一の歴史町である」と言ってもよいかも知れません。

しかし問題は、これをどのように磨き上げ、名実共に日本一の「ハートランド」にしていくかです。一生懸命頑張ります…お力添えのほどよろしくお願いします。

副理事長 山田 脩治

この度、財団の専務理事に就任させていただきました立岡です。私とハートランド推進財団との付き合いは大変長く、約25年となります。財団設立当時、市にハートランド推進室が設置されており、私はその推進室に勤務していました。また、当財団の名称の由来であるアメリカのハートランド「心のふるさと」と言われるグランドラピッズ市を訪問し、近江八幡市との姉妹都市締結記念式に参加させていただきました。今後は、商工会議所専務理事の経験も活かしながら、当財団の目的である「市民、行政、企業とのパートナーシップによるまちづくり」に取り組んで参りますので、皆様のお力添えの程よろしく御願います。

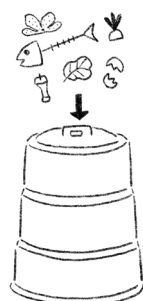
専務理事 立岡 功次

徳島県上勝町「ゼロ・ウェイスト運動」リサイクル率81%を達成した小さな町の大きな挑戦

上勝町は、「2020年までに焼却や埋め立てをせずにごみをゼロにする」ことを目標に掲げ、日本で初めて「ゼロ・ウェイスト」宣言を行った町である。2019年現在「ごみゼロ」という目標は達成に近づいていた。上勝町でゼロ・ウェイストを推進している、NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー(理事長・坂野晶さん)は、ゴミの3割を占める生ごみを堆肥にすることを最も重要な目標として、「リサイクルタウン計画」で、ごみを減らす知恵を絞った。

ごみの組成で最も多いのは重量比で3割となる「生ごみ」で水分量も多く、焼却するには補助燃料として化石燃料も必要になる。そこで、生ごみを堆肥化する方法を考え1995年、上勝町は全国に先駆けて家庭用生ごみ処理機の購入補助を開始した。1世帯あたりの自己負担金はわずか1万円。処理機の普及率は97%に達し、町内の生ごみの全量を発生源である各家庭で処理することに成功。生ごみは個人で堆肥化し、それ以外のごみは44種類に分別することで、できるだけ多くリサイクルに転換した。住民たちは分別したごみを、各自でゴミステーションまで運び、常駐するNPO法人ゼロ・ウェイストアカデミースタッフが住民のごみ分別を手伝う。ゴミステーションのプレハブの中にある「くるくるショップ」

には、「リユース」できる物、子どもが成長して着ることができなくなってしまった子供服や「持ち主にとっては不要になってしまったけれど、まだ使える物」が並ぶ。くるくるショップがあることで年間約15トンの物のごみにならず再利用されている。近江八幡市には「生ごみリサイクルプロジェクト」の活動も盛んで、人口2000人以下の上勝町より大きな効果を出せる「ゴミ0プロジェクト」に取り組むことのできるまちではないでしょうか?



(一財)ハートランド推進財団 事務局
〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地(白雲館内)
TEL.0748-33-5510/FAX.0748-33-5697
E-mail. chukan@npo-omi8man.com

《交通のご案内》

JR 近江八幡駅北口バス乗り場より近江鉄道バス「長命寺」行き→「大杉町」下車、徒歩2分



この印刷物は、琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付印刷用紙がわが湖環境ペーパーを採用しています。また、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用し、大豆油インキを包含した植物性インキ及び、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO2排出量はCO2を適切にカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO2排出量は上記の通りです。

はーとらんど通信 vol.11

2022.6月号
(一財)ハートランド推進財団 情報誌



第52回 八幡塾を開催しました

令和4年4月16日(土曜日)
Gネットしが視聴覚室で
「第52回 八幡塾」を開催しました。



八幡塾での瀧健太郎氏の講演の模様

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で「八幡塾」を開催することができませんでした。

令和4年度にはなりましたが、瀧健太郎氏を講師に迎え「流域再生——流域治水と小さな自然再生」について興味のある講演会となりました。

瀧健太郎氏は元滋賀県職員として主に河川に携わる仕事をしておられたので、近江八幡市の河川にも大変詳しく、また、馬淵小学校や、桐原東小学校の児童との校外学習にも関わっておられます。

皆さんが興味を持たれたのは、やはり近江八幡市の河川の安全性でしたが、瀧健太郎氏によると近江八幡市は全国的にみても大きな水害の出にくい恵まれた地域だそうです。

桜の名所にも数えられるようになった白鳥川は、よし笛ロードと周囲の土地の高さ

があまり変わりません。もし大水が出て水が川から溢れ出たとしても、床下浸水程度で収まる可能性が高いそうです。その一方で、市の南西部を流れる日野川は農業用水としての役割が大きい天井川となっており、白鳥川より一層の治水対策を講じることが大事ではないかと思いました。近江八幡市内でもいくつかのまちづくり活動団体が、白鳥川、日野川、北之庄沢、西の湖、琵琶湖などで環境改善活動をされていますが、私たちもその活動に感謝していくと共に、一緒に汗を流してその喜びを共有したいものです。

その活動に興味のある方は、ハートランド推進財団までお問合せ下さい。

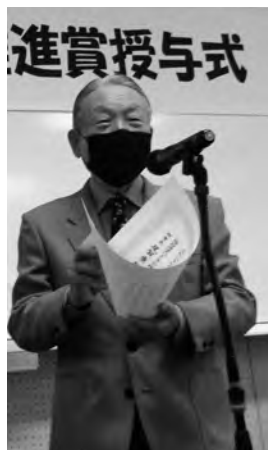
それらの活動紹介をします。

問合せ電話番号
0748-33-5510

第3回 ハートランド推進賞 授与式を執り行いました

令和4年 4月16日(土) Gネットしがにおいて
第3回ハートランド推進賞の個人賞と団体賞を授与しました。

個人賞 塩川 和宏 さん



進賞授与式

2005年「近江里山歩こう会」を発足させ、そのリーダーとして市民が自由に集えるように「まず、健康のための山歩きであり、各自が日頃から体力作りに励み自分でチェックする。楽しみ、喜びは各自がつかむもの」をモットーに毎月1回の軽い山歩きのグループを育て上げました。

塩川さんは、近江里山歩こう会の活動だけでなく、近江八幡市のボランティア活動の大きな集まりである、通称「近江八幡おやじ連」のリーダーの一人として、おやじ連の中にある様々な活動に、メンバーとして汗水をたらしながら貢献されています。「しおじい」の愛称で、子育て支援グループなどからも親しまれる、塩川さんは誰からも愛され、親しまれ、その分け隔てのない、人への接し方はハートランド推進賞の精神そのものです。

団体賞 白鳥川の景観を良くする会(景観隊)

2006年に発足し15年以上活動する、近江八幡市を代表するボランティア団体となっています。

自然がいっぱいの一級河川白鳥川も過去においては、堤防沿いや自転車道兼遊歩道は葛や雑草が伸び放題で市民も困っていました。

自治会等により植えられていた一部の桜は満開の花を咲かせていたことから、その続きとしてさらに桜苗を植樹するとともに、雑草の刈取りや不法投棄ゴミの回収・桜剪定と管理を定例活動されて、琵琶湖まで続く5kmの桜並木が完成しました。滋賀県でも有数の桜並木名所となり、市民が散策したり、憩いの場としてみんなが集まれるようになればと「桜ぼんぼり祭り」「鯉のぼりの川渡し」などイベントや、「桐原東小学生野外学習」等も行われています。



ハートランド推進財団は今後もまちづくり活動に尽力されている人、団体を応援していきます。

ハートランド推進財団では賛助会員を募集しています。

一口(年額) 個人会員 5,000 円以上、法人会員 60,000 円以上(お問合せは下記へ)

(一財)ハートランド推進財団

電話番号 0748-33-5510
E-mail. chukan@npo-omi8man.com

令和3年度 まちづくり団体育成支援補助金事業

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)の「近江八幡市まちづくり団体育成支援補助金」の募集を行いました。(近江八幡市の委託事業です。)その審査の結果、下に紹介する団体(グループ)が採択され、活動を行っています。各団体の詳しい活動内容はハートランド推進財団発行の冊子に紹介しています。

創業補助 (1回限り)

新たなまちづくり活動を始める団体、初めてまちづくり活動に取り組む団体、今までと違った活動に取り組む団体(活動を始めて3年未満)が対象です。最高額 30 万円で対象費用総額の 80%まで補助しています。

■創業補助採択団体

団体(グループ)名	活動内容
●hachimom	子育てと地域をつなぐ情報誌「MAMA PASSPORT」
●もったいないをつくり隊	リサイクル活動
●食育サロン「美.Lakuyon」	地域の食育を向上させる事業
●寺内浜・百間堀ポンプ場跡整備の会	寺内浜・百間堀ポンプ場跡整備事業
●特定非営利活動法人 西の湖自然楽校	西の湖自然楽校 スタートアップ事業
●おうみはちまん子育てサークル こねこねこ	感性を育む子育て支援

しっかり活動運営補助 (2回まで)

団体(グループ)を立ち上げて3年以内の初動期にある団体が対象です。最高額 10 万円で対象費用総額の 80%まで補助しています。

■しっかり活動運営補助採択団体(団体名)

●ゆっくぶっく	●自分探しをサポートする会
●西の湖あそび隊	●あづちサマーフェスティバル実行委員会
●Hug Baby 近江八幡	●はちまん・あづちふるさとアカデミー
●近江八幡 RAKUICHI 実行委員会	●ノルディックウォークで健康増進しよう
●甲冑隊あづち信長まつり衆	
●発達障がいと知的障がいのある人の疑似体験型啓発キャラバン隊「花bee」	

ジャンプアップ運営補助 (1回限り)

3年を超えて活動中の団体が対象です。最高額 15 万円で対象費用の 50%まで補助しています。

■ジャンプアップ運営補助採択団体(団体名)

●安土八幡陸上クラブ	●安八いちまる会
●読書ボランティア「ぐりとぐらの家」	●はちまん青年経営者会

※詳しい内容をお知りになりたい時は、(一財)ハートランド推進財団までお問合せください。